

日本・インドネシア共和国国交 50 周年記念

インドネシア更紗のすべて—伝統と融合の芸術

All about Batik Art of Tradition and Harmony

インドネシア更紗 (バティック)、その豊潤な世界

会期 2008年6月3日(火)~7月21日(月・祝)
会場 千葉市美術館 8階展示室
開館時間 10:00-18:00 (毎週金・土曜日は20:00まで)

*入館受付は閉館の30分前まで

休館日 第1月曜日(7月7日)

観覧料 一般800円(640円)
高校・大学生560円(450円)

小・中学生無料

* ()内は団体30人以上・前売料金および
市内在住60才以上のかた

*前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ
(5月18日まで)、千葉都市モノレール「千葉駅」
「千葉みなと駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口
(7月21日まで)にて販売

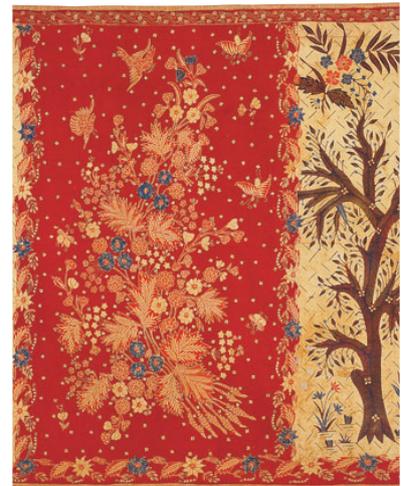
主催 千葉市美術館・朝日新聞社

監修 国土館大学政経学部教授 戸津正勝

後援 インドネシア大使館、ジョクジャカルタ王宮、マンクネガラ王宮(スラカルタ)、インドネシア・
バティック協会、インドネシア日本友好協会、日本インドネシア協会、プカロガン市、プルサ
ダ(インドネシア元日本留学生協会)

助成 国際交流基金 財団法人文化財保護・芸術研究助成財団

協賛 国土館大学



童話「赤ずきんちゃん」文筒型腰衣 部分
北部海岸 20世紀前期
戸津コレクション

展覧会について 1万3千を超える島々に多様な歴史と文化が息づくインドネシア。そこでは臈纈(ろうけつ)染めによって美しい文様の布、バティック(Batik、更紗)が生み出され、発展を遂げました。日本には早くも江戸時代に伝わり、更紗ブームを引き起こしています。

今回の展覧会ではインドネシア更紗の歴史と魅力を、アジア地域研究を専門とされる国土館大学教授戸津正勝氏のコレクションを中心に紹介します。インドネシアの誇るバティックの魅力を存分にお楽しみください。

関連イベント

◎ファッション・ショー

インドネシア更紗を用いたファッションとガムランを素材とするデジタル・ミュージックによる 玉川大学芸術学部ミュージアム・プロジェクト ビジュアル・アート・ショー

6月8日(日) 11:00より・14:00より / 1階さや堂ホールにて / 申込不要

◎講演会「更紗と江戸の風俗」

6月28日(土) 14:00より / 11階講堂にて / 先着150名 / 聴講無料

講師: 小笠原小枝 (日本女子大学教授)

◎袱紗講習会 (お気に入りの布を使って、日本伝統の包み布・敷き布を作りましょう)

6月22日(日)・7月6日(日) / いずれも14:00~16:00 / 9階講座室にて / 参加無料

対象 15歳以上でボタン付け・運針ができる人 要申し込み。

講師: 長野みどり (江戸仕立仕覆師)

定員: 各回12名 往復はがきまたはFAXで申込。1通につき1名。

住所・氏名・連絡先電話番号・希望日を書いて「千葉市美術館 袱紗講習会係」まで。

6月22日分は6月5日消印または送信有効。7月6日分は6月26日消印または送信有効

◎ギャラリートーク

担当学芸員 6月4日(水)・6月20日(金) 14:00より

ボランティアスタッフ 会期中毎週水曜日(6月4日を除く) 14:00より

チケットをお持ちの上、8階展示室入口にお集まりください。

◎バティック体験

展示室内にバティックに触れるコーナーを設置

試着会 6月21日(土)・6月29日(日)・7月5日(土)・7月12日(土)・7月20日(日)

14:00~17:00 / 9階講座室にて / 参加無料 対象: 身長100センチ以上のお子様と成人女性 申込不要

同時開催

◎「手仕事の美」

6月3日(火)→7月21日(月・祝) 7階展示室にて / 「インドネシア更紗のすべて」をご観覧のかたは無料(当日のみ)。

交通案内

◎JR千葉駅東口より

徒歩約15分

千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川(よしかわ)公園駅」下車徒歩5分

バスのりば7より大学病院行、または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩2分

◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

◎東京方面から車では、京葉道路または東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ。貝塚IC下車。

国道51号を千葉市街方面へ約3km。広小路交差点近く。

◎地下に駐車場があります

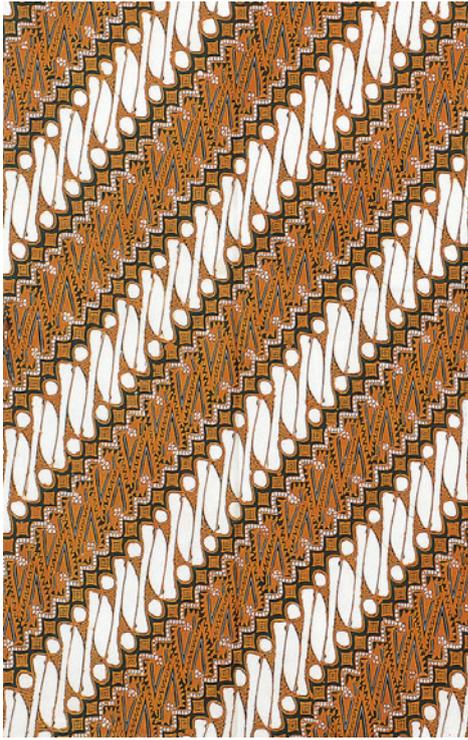
*本資料に関するお問い合わせおよび報道用写真のご請求は:

千葉市美術館 学芸課 伊藤紫織 sito@ccma-net.jp

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

TEL. 043-221-2313 FAX. 043-221-2316

*美術館の電話番号を掲載する場合は043-221-2311



パラン文腰衣（部分）
ジョクジャカルタ・プジョクスモ
戸津コレクション



ワヤン文腰衣（部分）
ジョクジャカルタ 20世紀前半
戸津コレクション



花束文筒衣（部分）
クドゥウニ オイ・スー・チョン工房
20世紀中頃
戸津コレクション

*本資料に掲載しております写真は報道用写真としてお使いいただけます。
ご希望の方は伊藤紫織 (sito@ccma-net.jp) までご連絡ください。